



謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

秋田なまはげ農業協同組合 代表理事組合長 京極 芳郎

あけましておめでとうございます。昨年中は本組合事業への特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、5月に発生した豪雨をはじめ、記録的な猛暑や度重なる台風など、大きな気候変動に見舞われました。

幅広い品目に渡って、冠水や土砂の流入、強風害や塩害などの被害を受け、品質や収量への影響が強く見られた一年でありました。一方で、記念すべき第100回全国高校野球選手権大会(夏の甲子園)における県立金足農業高校の活躍は、農業に携わる全ての人に希望と感動を与え、農業や管内農産物への関心が高まるきっかけとなりました。

秋田市で開催された第141回県種苗交換会では、過去最多となる125万人が県内外から来場し、大きな盛り上がりを見せました。農林水産大臣賞には、8点の受賞点数のうち4点の農産

物が当JA管内の出品物から輝き、管内農産物の品質向上が窺える結果となりました。

また、(株)あきたベジフルサポートと連携して、地産池消の推進を目指した「なまはげの畑応援プロジェクト」を始め、スケールメリットを発揮した農産物の販売強化に取り組んでおります。集出荷施設や機械設備の整備によつて品質向上と生産者の労力軽減に取り組む枝豆では、販売額がはじめて1億円を突破したほか、管内に広がりを見せる園芸メガ団地においても生産品目や規模の拡大を見せており、当JAの農畜産物が市場から高い評価を得る一助となつております。

2JA合併による機構改革では、営農指導力強化の一環として、農業の担い手をサポートする「担い手支援室」を新たに設置いたしました。地域農業の現

状は、担い手不足の深刻化や農業従事者の高齢化を発端として、農業生産力や集落機能の低下、遊休農地の増加など、農業政策や農業情勢等の変化とも相まって、多くの課題に直面しております。このような現状において、担い手の確保と育成は、管内農業の維持や振興の面から急務であり、JAの最重要課題のひとつでもあります。農業の担い手に対し、法人の設立や運営支援、大規模圃場や共同施設の整備、園芸作物の振興等の営農支援を、関係機関と連携して引き続き進めてまいります。

11月には追分支店がリニューアルオープンし、お客様が気持ちよくご利用できるように、椅子に座って手続きをすることができるようローカウンターを全窓口へ設置いたしました。店舗の窓口対応については、当JAの代表がJAバンクあきたアカデミー窓口コンテストで最優秀賞、J

A共済全県スマイルサポーターロールプレイングコンテストで優秀賞を受賞し、CS(顧客満足度)向上の取り組みの成果が現れております。

JA秋田なまはげは新たな年を迎え、「活力のある地域農業の振興と安心して暮らせる地域社会への貢献」をビジョンに掲げながら、管内の農畜産物の生産や販売に係る事業を通じて、更なる「組合員の所得向上」と次世代へつな

がる「地域農業の発展」に、これからも尽力していく所存です。併せて「県央の食を担う強いJA」を目指し、食の安全・安心の確保や地産地消の推進に取り組み、消費者や利用者から信頼される農畜産物の生産と供給に努めてまいります。

結びに、皆様の一層のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。